

答申が出されました

5月9日に大田原市立小中学校再編整備検討委員会から「大田原市立小中学校再編整備に関する答申書」が提出されましたのでお知らせします。この答申を受け、教育委員会は最大限尊重するとの取り扱いを決定し、その実施に向けては関係者との協議を重ね、検討していきます。

■市立小中学校の再編整備についての提言

●前提となる大田原市立小中学校の適正配置に関する提言

(1)基本となる事項

・小規模校に対しては、必要に応じて近隣の学校と統廃合を行う。特に過小規模校については早急に対応の検討を要する。

・大規模校については通学区域等の変更を行う。

(2)適正規模・適正配置の範囲について

ア…1学級の児童生徒数

小中学校設置基準、学習指導の効果等を総合的に勘案すると、次の範囲が適正であると考える。

・小学校：1学級あたり20～35人

・中学校：1学級あたり20～35人

イ…1校あたりの学級数

学校教育法施行規則等、教育効果等を総合的に勘案すると、次の範囲が適正であると考える。

・小学校 12～18学級 ・中学校 9～18学級

■再編整備の基本的な考え方

(1)通学区域の見直し

大規模化の解消を図るため、平成24年12月14日「大規模校である西原小学校の再編整備についての部分答申書」を提出した。

(2)統廃合

児童生徒数の増加が見込めないことから、複式学級やクラス替えのできない単学級のある小中学校を優先し統廃合を検討したが、地理的条件や地域の歴史的背景を考慮しながら、短期間に統廃合を繰り返すことのないよう適正規模に近づける統廃合とした。

再編整備の時期については次のとおりとする。

①複式学級を有する学校を含む小学校の統廃合は、概ね5年以内を目処に実施できるよう努める。

②上記①以外の小学校の統廃合は、概ね10年以内を目処に実施できるよう努める。

③中学校の再編整備は、小学校の統廃合の進捗状況と整合性を図りながら推進する。

■再編整備の計画

(1)中学校…9校を7校に再編する。

①親園中と佐久山中を統合する。

②金田南中と湯津上中を統合する

(2)小学校…20校を10校に再編する。

①西原小(部分答申により通学区域の見直しを答申済)

②紫塚小(①と同じ) ③大田原小(①と同じ)

④親園小、宇田川小、佐久山小及び福原小の4校を統合する。

⑤市野沢小と羽田小を統合する。

⑥奥沢小と金丸小を統合する。

⑦佐良土小、湯津上小及び蛭田小の3校を統合する。

⑧薄葉小と石上小を統合する。

⑨黒羽小、須賀川小及び両郷中央小の3校を統合する。

■実施にあたっての留意事項、配慮事項

・保護者、地域住民に対し、学校の実情や統廃合の必要性等の理解を得るよう努めるとともに、十分な準備期間をとること。

・既存校舎、施設等の活用を検討すること。

・施設の整備は、統合に必要な最小限の整備とすること。

・保護者等からの早期実施の要望には、柔軟な対応をとること。

・事前交流事業を実施し、教育環境への適応や人間関係が構築できるよう配慮すること。

・通学上の問題に配慮すること。

・学校は教育的施設としてのみならず地域活動の拠点としての機能を有しているため、特色のある小学校として存続できる提案がある場合は検討すること。

■教育環境の整備についての提言

1. 統廃合後の校舎の使用計画

既存の校舎を増改築し使用することを原則とし、地理的条件及び施設規模を考慮して使用する校舎を決定することとするが、広範囲に渡る統廃合が行われる場合は、新設も検討すること。

2. スクールバスの運行計画

通学区域が変更される児童生徒の通学手段としてスクールバスの運行を計画すること。

なお、運行にあたっては、校内の安全施設の整備をすること。

通学路交通安全プログラムが策定されました

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことを受け、市教育委員会では、警察および道路管理者などと連携し、同年の7、8月にかけて市立小中学校の通学路の緊急合同点検を実施しました。

市では、引き続き通学路の安全確保を図るために「大田原市通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、プログラムに基づき、関係機関が連携して、

児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

なお、「大田原市通学路交通安全プログラム」の内容は、市ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

問 学校教育課 湯 TEL(98)71114

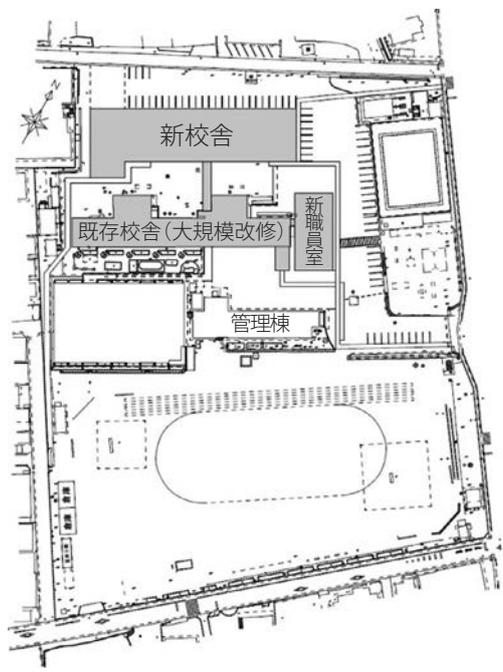
☎ <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/docs/2014041500021/>

大田原小学校・紫塚小学校 建設検討委員会報告書

問教育総務課 湯 TEL(98)7112

平成 26 年 5 月 9 日に、大田原小学校建設検討委員会および紫塚小学校建設検討委員会から報告書が提出されましたので、その概要を紹介します。

大田原小学校 新校舎 RC造3階建 (教室・図書室・給食室ほか)



RC造…鉄筋コンクリート造のこと

1 基本構想(コンセプト)

- 安全な学校(避難経路、防犯対策の充実など)
- 快適な学習・生活環境である学校(内装木質化など)
- 快適な職場である学校(職員室・トイレの充実など)
- 多様な教育活動がしやすい学校(空間の充実など)
- 環境に配慮した学校(LED照明など)
- 地域の拠点となる学校(多目的室の設置)
- 保守・点検しやすい学校(外観はシンプルになど)

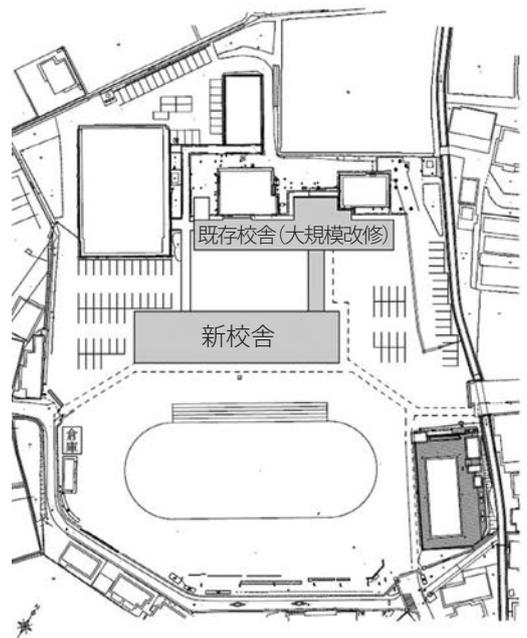
2 施設整備計画

- 監視カメラ・防犯カメラの設置
- 内装木質化(床は全面、壁は腰壁の位置まで)
- 職員室の増設
- 吹き抜けとした広い図書室
- 校舎と一体化の給食室
- 管理棟は地域の開放施設や学童施設などとして利用

3 年次計画

- 平成 27 年度 仮設校舎建設・木造校舎解体・新校舎建設
- 平成 28 年度 新校舎完成(平成 29 年 1 月供用開始予定)
- 平成 29 年度 給食室解体・大規模改修・新職員室建設・仮設校舎解体

紫塚小学校 新校舎 RC造2階建 (職員室・図書室・特別教室ほか)



1 基本構想(コンセプト)

- 子ども達にとって成長の舞台である学習の場をつくる(学習環境)
- 楽しく交流できる場をつくる(生活環境)
- 地域の中心として意識した連携の場をつくる(交流環境)

2 施設整備計画

- 内装木質化(床全面、壁は窓枠辺りまで)
- 図書室は図書スペースとし、可動式の間仕切りとする
- バリアフリーにする
- 窓は全て飛散防止仕様とする

3 年次計画

- 平成 27 年度 仮設校舎建設・木造校舎解体・新校舎建設
- 平成 28 年度 新校舎完成(平成 29 年 1 月供用開始予定)
- 平成 29 年度 大規模改修・仮設校舎解体

■報告書の全文は市ホームページをご覧ください。